

原作：桃太郎

「眠気」

— 2 稿 —

2024/03/29

石川

〈人物表〉

野上 晴香 (20) 保育士

池田 広子 (30) 先輩保育士

園児たち

〈ログライン〉

紙芝居を読んでいた晴香は、昼間は園児が眠くなることに気づき、紙芝居の時間を午前中に変更する。

〈ねらい〉

相手を観察することが大事。

1. つくし保育園・校庭（朝）

晴れた日。桜が散りかけている。

園児たちがそれぞれに遊んでいる。

野上晴香（20）、園児たちに混ざり、

晴香 「待て〜」

と、追いかける。

晴香、園児に追いつき、捕まえる。

晴香、息を整えていると、

園児A 「先生、遊ぼう〜」

と、服を引っ張られる。

逃げまわっていた園児から、

園児 「先生、はやく〜」

晴香 「あーちよっと待ってね」

そこに池田広子（30）が来て、

広子 「そんなに走っていると体力持たないよ。アタシ代わるから」

晴香 「広子先生、すいません」

と、園児Aについていこうとする。

晴香、遠くを見て、何かに気づき、

晴香 「危ないでしょ〜」

すべり台を下から登る園児。

晴香 「（園児Aに）ごめんね」

と、すべり台へ急いで向かう。

2. つくし保育園・教室（昼）

晴香、広子、園児たちは給食を食べている。

3. つくし保育園・教員室（昼）

晴香、あくびをしながら入ってくる。あくびに気付

いて手で押さえる。

自分のデスクでお茶を飲み、腕時計を見る。

晴香、早足で出て行く。

4. つくし保育園・教室（昼）

壁時計は1時30分を示している。

園児たちが集まって、床に座っている。

園児たちの視線の先には、晴香。椅子に座って紙芝居を持っている。

晴香 「みんな大好き桃太郎だよ〜はじまり、はじまり〜」
と、表紙をめくる。

以降、画面は紙芝居（止め絵）に固定。一場面ずつ切り替わる。

5.

紙芝居

畑に面した家。畑仕事をする二人の老人。

晴香の声 「むかしむかし、あるところにおじいさんとおばあさんがいました」

山へ向かうおじいさん。

晴香の声 「ある日、おじいさんは山へ芝刈りに」

川で洗濯するおばあさん。

晴香の声 「おばあさんは川へ洗濯に行きました」

驚くおばあさん。

晴香の声 「おばあさんは驚きます」

上から桃が見える。

晴香の声 「なんと大きな桃が流れてきたのです」

桃を持つおばあさん。

晴香の声 「おばあさんは桃を拾うと」

家でおじいさんに桃を見せるおばあさん。

晴香の声 「持って帰って、おじいさんと二人で食べようとした。いぎ、中を割ってみると」

割れた桃の中に赤ん坊がいる。

晴香の声 「なんと中には人間の赤ん坊がいたのです。これにはおじいさんもおばあさんもびっくりしましたが」

顔を見合わせ、笑顔のおじいさんとおばあさん。

晴香の声 「子供がいなかった二人は、喜んでこの赤ん坊、桃太郎を育てることにしたのです」

囲炉裏を囲んで食事中的、子供時代の桃太郎、おじ

いさん、おばあさん。

晴香の声 「桃太郎は大切に育てられ」

青年に育った桃太郎。

晴香の声「立派に成長しました」

痩せ細った村人たち。服もボロボロ。

晴香の声「一方、村では村人たちが鬼によって食べ物を奪われ、困っていました」

家の前。おじいさんを背に立つ桃太郎。腰には刀。

晴香の声「桃太郎は、村人たちを困らせている鬼を退治しようと考えます」

× × ×

最後列に座っている園児、眠そうに目をこする。

晴香、気付かない。

× × ×

おばあさん、袋を持っている。

晴香の声「おばあさんは旅立つ桃太郎を呼び止めます。これを持っておいき、ときび団子を作ってくれたのです」

袋を持った桃太郎、おじいさんとおばあさんに手を振る。

晴香の声「きび団子と刀を持った桃太郎、おじいさんとおばあさんに別れを告げ、鬼退治に向かいます」

一本道を歩く桃太郎。

晴香の声「桃太郎が歩いていると」

犬がいる。

晴香の声「どこからか、犬が現れました。鬼退治に仲間が必要だと考えた桃太郎は」

桃太郎が犬にきび団子を食べさせている。

晴香の声「きび団子を犬に分けてやりました。犬は大変喜び、桃太郎になつきました」

桃太郎と犬が歩いている。

晴香の声「こうして犬が仲間になりました。桃太郎、歩いていると」

木にぶら下がった猿、桃太郎を見ている。

晴香の声「猿が現れ、桃太郎の方を見えています」

きび団子を差し出す桃太郎。

晴香の声「お前も仲間になるか、と桃太郎はきび団子を差し出し

ます」

食べる猿。

晴香の声「猿は喜び」

6. つくし保育園・教室（昼）

晴香、あくびが出そうになり、こらえる。

静かな教室。

晴香、園児たちに気付く。

眠そうに目をこする園児、座ったまま寝てしまっ

ている園児。

晴香、一瞬考えたあと、紙芝居を伏せる。

×

布団が敷かれている。園児たちを寝かしつける晴香。

×

7. つくし保育園・教室（別の日・朝）

壁時計は11時を示している。

園児たちが集まって、床に座っている。

園児たちの視線の先には、晴香。椅子に座って紙芝

居を持っている。

晴香 「最初から読むね」

と、桃太郎を見せる。

（終わり）